

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日
東

上場会社名 株式会社音通 上場取引所
 コード番号 7647 URL <https://ontsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,418	8.2	460	56.1	450	60.0	222	31.2
2023年3月期	4,082	△49.7	295	83.8	281	107.3	169	64.3
(注) 包括利益	2024年3月期		222百万円(31.2%)		2023年3月期		169百万円(64.3%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	1.09	—	7.3	7.8	10.4
2023年3月期	0.83	—	5.9	4.9	7.2
(参考) 持分法投資損益	2024年3月期	0百万円	2023年3月期	1百万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	6,073	3,129	51.5	15.40
2023年3月期	5,508	2,954	53.6	14.54
(参考) 自己資本	2024年3月期	3,129百万円	2023年3月期	2,954百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,057	△226	116	2,470
2023年3月期	965	△40	△721	1,523

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.12	—	0.12	0.24	48	28.8	1.7
2024年3月期	—	0.12	—	0.12	0.24	49	22.1	1.6
2025年3月期(予想)	—	0.12	—	0.12	0.24		15.7	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	△0.3	270	21.0	265	20.7	156	39.9	0.76
通期	4,500	1.9	540	17.2	530	17.7	310	39.4	1.51

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	206,850,645株	2023年3月期	203,142,645株
② 期末自己株式数	2024年3月期	3,661,410株	2023年3月期	2,410株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	204,881,557株	2023年3月期	203,140,235株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
(1) 役員の変動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の経営成績は、売上高4,418,018千円（前年同期比8.2%増）、営業利益460,876千円（同56.1%増）、経常利益450,113千円（同60.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益222,333千円（同31.2%増）であり、繰延税金資産の計上により法人税等調整額△6,202千円（前年同期は43,948千円）が発生いたしました。

なお、特別利益として固定資産売却益7,192千円、特別損失として減損損失35,224千円、固定資産売却損25,803千円が発生いたしました。

a. カラオケ関係事業

当セグメントでは、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸並びに卸売事業を行っております。

当期は、既存顧客に対する営業活動とあわせて、新規オープン予定店舗に対する営業活動にも重点を置いて取り組んでまいりました。また、昨秋メーカーが発表した新機種に対する需要を一定数取り込むための営業活動も重点的に行ってまいりました。

デイ市場においては、出店意欲が旺盛なカラオケボックス運営事業者から、新機種を中心に機器販売の受注を継続的に獲得することができました。また、ナイト市場におきましては、閉店する店舗が多数見られる一方で新規出店も多数にのぼり、レンタル契約を中心に順調に契約を獲得することができました。

この様な状況により、売上高は2,434,843千円と前年同期と比べ400,423千円（19.7%）の増収となりました。また、固定資産の減価償却が進むなどした結果、セグメント利益（営業利益）は374,679千円と前年同期と比べ116,920千円（45.4%）の増益となりました。

b. スポーツ事業

当セグメントは、スポーツクラブ「JOYFIT」を2店舗、24時間型フィットネス・ジム「JOYFIT24」を18店舗、フィットネス・ジム「FIT365」を7店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗、合計28店舗を運営しております。なお、当連結会計年度における新規出店はありません。

「JOYFIT24」の各店舗におきましては、低価格帯会員区分の新規導入を順次実施するとともに、店舗サービスの見直しを通して競合する他ブランドとの差別化ならびに競争力強化を図ってまいりました。しかしながら、当連結会計年度における新規会員数の伸びは2%程度にとどまっております。

この様な状況により、売上高は1,630,652千円と前年同期と比べ17,243千円（1.0%）の減収となったものの、人件費の見直しや固定資産の減価償却が進むなどした結果、セグメント利益（営業利益）は181,490千円と前年同期と比べ71,483千円（65.0%）の増益となりました。

c. IP事業

当セグメントは、店舗及び住宅の賃貸並びにコインパーキング「T.O.P.24h」の運営をしております。

コインパーキング事業におきましては、当連結会計期間末日現在、大阪府、兵庫県、京都府におきまして53カ所640車室のコインパーキングを運営しております。

店舗及び住宅の賃貸につきましては、収益力の低い2物件を売却処分いたしました。また、コインパーキングの運営につきましては安定して推移しておりますが、新規開設がなかったため、前連結会計年度に閉鎖した大型施設の売上高の減少分を補うことができませんでした。

この様な状況により、売上高は352,522千円と前年同期と比べ47,782千円（11.9%）の減収となりました。一方で、新規設備投資の抑制を継続しており、固定資産の減価償却が進むなどした結果、セグメント利益（営業利益）は52,033千円と前年同期と比べ429千円（0.8%）の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産は、前連結会計年度から564,947千円増加して6,073,563千円となりました。

主な要因は、現金及び預金が947,461千円増加する一方で、固定資産が382,543千円減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度から389,600千円増加して2,943,583千円となりました。

主な要因は、金融機関からの借り入れによる長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が566,724千円増加する一方で、新規設備投資は現金決済で実施したため割賦未払金（1年以内支払予定の長期割賦未払金含む）が251,070千円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度から175,347千円増加して3,129,980千円となりました。

主な要因は、資本金が93,122千円、資本準備金が7,532千円、親会社株主に帰属する当期純利益が222,333千円増加するなどした一方で、配当により49,197千円、自己株式の取得で98,442千円減少したことなどによります。

なお、自己資本比率は51.5%（前連結会計年度は53.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度は、前連結会計年度からの増加額は947,461千円となり、現金及び現金同等物の期末残高は2,470,954千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、カラオケ関係事業の業績が好調に推移するとともに、スポーツ事業の業績も堅調に推移するなどした結果、前連結会計年度から91,786千円増加して1,057,065千円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資は前年並みの規模で実施する一方で、固定資産の売却をするなどした結果、前連結会計年度から185,684千円減少して226,448千円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、金融機関からの借入れを実施する一方で、借入れの返済や割賦債務の返済による支出などにより、前連結会計年度から838,284千円増加して116,844千円の収入となりました。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して社会経済活動が正常化したことを背景に、緩やかな景気回復基調で推移しました。一方で、日本を除く世界各国は、インフレ抑制のため金利の高止まり状態が続いており、今後の金融情勢の推移と経済活動への影響には引き続き強い警戒が必要と考えております。

カラオケ関係事業におきましては、当社の顧客であるカラオケボックス運営事業者や飲食店等の経営状態が重要な要素となりますが、今後も業績の回復傾向が続くものと考えております。そのため、新規出店案件や機器の入れ替え案件の成約件数は、安定して獲得できるものと想定しております。当事業の2025年3月期における設備投資は、レンタル用機器の新規導入などに総額380百万円を計画しております。

スポーツ事業におきましては、新規会員の獲得が重要な要素となりますが、会員の獲得は着実に進むことを想定しております。一方で、競合店の出店や施設の陳腐化などで店舗業績が悪化する場合には、減損リスクの顕在化が懸念されます。当事業の2025年3月期における設備投資は、1店舗の新規出店と、店舗設備の修繕やトレーニングマシンの更新などに総額150百万円を計画しております。

なお、IP事業におきましては、2025年3月期における設備投資は計画しておらず、既存施設を安定的に運営することを想定しております。

この様な見通しをもとに、2025年3月期における業績予想につきましては、売上高4,500百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益540百万円（同17.2%増）、経常利益530百万円（同17.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益310百万円（同39.4%増）を見込んでおり、設備投資計画の総額は570百万円（営業資産40百万円を含む）を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は日本国内に限定されており、海外での事業展開はありません。利害関係者の多くは国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性も乏しいため、当面は日本基準を採用することとしております。今後は外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,523,493	2,470,954
売掛金	393,558	385,941
商品及び製品	31,003	86,738
原材料及び貯蔵品	3,119	1,226
前払費用	109,393	115,276
預け金	469	107
その他	61,533	10,811
貸倒引当金	△2,501	△2,685
流動資産合計	2,120,070	3,068,372
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
減価償却累計額	△2,993,850	△3,035,693
賃貸資産(純額)	1,241,226	1,082,608
建物及び構築物		
減価償却累計額	△750,339	△828,570
建物及び構築物(純額)	815,218	710,785
土地	445,835	395,037
その他	1,172,660	1,191,467
減価償却累計額	△924,974	△1,031,890
その他(純額)	247,686	159,576
有形固定資産合計	2,749,966	2,348,007
無形固定資産		
のれん	13,268	2,367
その他	9,638	21,888
無形固定資産合計	22,907	24,256
投資その他の資産		
投資有価証券	131,190	132,127
建設協力金	43,110	32,267
差入保証金	260,300	256,532
繰延税金資産	143,614	149,817
その他	48,072	73,571
貸倒引当金	△12,391	△12,354
投資その他の資産合計	613,895	631,961
固定資産合計	3,386,769	3,004,225
繰延資産		
株式交付費	58	11
社債発行費	1,717	954
繰延資産合計	1,776	965
資産合計	5,508,616	6,073,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,897	134,945
1年内返済予定の長期借入金	431,017	960,502
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払金	47,673	51,171
1年以内支払予定の長期割賦未払金	251,070	110,865
未払法人税等	43,546	145,904
その他	164,609	131,395
流動負債合計	1,118,814	1,574,783
固定負債		
社債	60,000	20,000
長期借入金	887,469	924,708
長期割賦未払金	110,865	-
役員退職慰労引当金	135,340	178,700
退職給付に係る負債	68,436	71,510
資産除去債務	44,926	45,596
その他	128,130	128,284
固定負債合計	1,435,168	1,368,800
負債合計	2,553,983	2,943,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,725,920	1,819,042
資本剰余金	1,016,400	1,023,932
利益剰余金	212,398	385,534
自己株式	△87	△98,529
株主資本合計	2,954,632	3,129,980
純資産合計	2,954,632	3,129,980
負債純資産合計	5,508,616	6,073,563

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,082,621	4,418,018
売上原価	2,120,980	2,317,585
売上総利益	1,961,640	2,100,432
販売費及び一般管理費	1,666,400	1,639,555
営業利益	295,240	460,876
営業外収益		
受取利息	1,490	1,164
持分法による投資利益	1,006	937
受取保険金	2,785	777
受取奨励金	3,543	3,226
受取給付金	2,750	-
その他	3,290	1,861
営業外収益合計	14,865	7,966
営業外費用		
支払利息	15,687	13,504
社債発行費償却	763	763
支払保証料	124	78
支払手数料	4,426	1,378
その他	7,763	3,005
営業外費用合計	28,765	18,730
経常利益	281,340	450,113
特別利益		
固定資産売却益	-	7,192
新株予約権戻入益	35,484	-
資産除去債務戻入益	428	-
特別利益合計	35,912	7,192
特別損失		
固定資産売却損	-	25,803
固定資産除却損	463	7
減損損失	-	35,224
店舗閉鎖損失	21,678	3,986
特別損失合計	22,142	65,022
税金等調整前当期純利益	295,111	392,283
法人税、住民税及び事業税	81,680	176,153
法人税等調整額	43,948	△6,202
法人税等合計	125,629	169,950
当期純利益	169,481	222,333
親会社株主に帰属する当期純利益	169,481	222,333

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	169,481	222,333
包括利益	169,481	222,333
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	169,481	222,333

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,725,920	1,016,400	91,669	△87	2,833,904
当期変動額					
新株の発行					-
剰余金の配当			△48,752		△48,752
親会社株主に帰属する当期純利益			169,481		169,481
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	120,728	-	120,728
当期末残高	1,725,920	1,016,400	212,398	△87	2,954,632

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	35,484	2,869,388
当期変動額		
新株の発行		-
剰余金の配当		△48,752
親会社株主に帰属する当期純利益		169,481
自己株式の取得		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△35,484	△35,484
当期変動額合計	△35,484	85,244
当期末残高	-	2,954,632

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,725,920	1,016,400	212,398	△87	2,954,632
当期変動額					
新株の発行	93,122	7,532			100,654
剰余金の配当			△49,197		△49,197
親会社株主に帰属する当期純利益			222,333		222,333
自己株式の取得				△98,442	△98,442
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	93,122	7,532	173,135	△98,442	175,347
当期末残高	1,819,042	1,023,932	385,534	△98,529	3,129,980

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	-	2,954,632
当期変動額		
新株の発行		100,654
剰余金の配当		△49,197
親会社株主に帰属する当期純利益		222,333
自己株式の取得		△98,442
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-
当期変動額合計	-	175,347
当期末残高	-	3,129,980

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	295,111	392,283
減価償却費	604,833	546,107
減損損失	-	35,224
のれん償却額	19,273	10,901
社債発行費償却	763	763
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,462	4,102
株式報酬費用	60,196	39,343
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,217	43,360
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,492	3,073
受取利息及び受取配当金	△1,490	△1,164
支払利息	15,687	13,504
店舗閉鎖損失	21,678	3,986
資産除去債務戻入益	△428	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,002	367
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△259	△53,842
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,802	37,163
持分法による投資損益 (△は益)	△1,006	△937
固定資産売却損益 (△は益)	-	18,611
預け金の増減額 (△は増加)	△249	331
その他	48,435	2,778
小計	1,089,516	1,095,958
利息及び配当金の受取額	1,493	1,164
利息の支払額	△15,648	△13,421
法人税等の支払額	△131,553	△76,593
法人税等の還付額	21,471	49,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	965,279	1,057,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	230,267	-
長期貸付金の回収による収入	283	-
有形固定資産の取得による支出	△343,428	△341,281
有形固定資産の売却による収入	-	106,336
建設協力金の回収による収入	11,664	10,842
差入保証金の差入による支出	△2,001	△8,934
差入保証金の回収による収入	56,927	12,702
預り保証金の返還による支出	△5,118	△874
預り保証金の受入による収入	15,687	13,588
資産除去債務の履行による支出	△4,334	-
その他	△714	△18,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,764	△226,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	970,000	1,150,000
長期借入金の返済による支出	△1,257,074	△583,276
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
割賦債務の返済による支出	△330,115	△249,125
配当金の支払額	△48,341	△48,792
自己株式の取得による支出	-	△98,442
リース債務の返済による支出	△15,874	△13,519
その他	△35	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△721,440	116,844
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	203,074	947,461
現金及び現金同等物の期首残高	1,320,418	1,523,493
現金及び現金同等物の期末残高	1,523,493	2,470,954

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。なお、当社は、事業の分社化が進んでおり、各事業に従事するグループ会社とともに、それぞれ事業活動を展開しております。

当社グループは、業務用カラオケ機器の賃貸及び販売の事業形態を基礎とした「カラオケ関係事業」、スポーツクラブ及びホットヨガスタジオの運営の事業形態を基礎とした「スポーツ事業」、不動産の賃貸、販売及びコインパーキングの運営の事業形態を基礎とした「I P 事業」から構成されており、これら3事業を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

セグメント (区分)	事業内容	会社名
カラオケ関係事業	・カラオケ機器及び関連商品の販売及び賃貸	株式会社音通エンタテイメント
スポーツ事業	・スポーツクラブ「JOYFIT」(FC)の経営 ・スポーツジム「FIT365」(FC)の経営 ・ホットヨガスタジオ「LAVA」(FC)の経営	株式会社ファイコム
I P 事業	・不動産及び店舗設備の賃貸 ・コインパーキング「T.O.P.24h」の経営	株式会社音通

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			
	カラオケ 関係事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,034,419	1,647,896	241,739	3,924,055
その他の収益	—	—	158,565	158,565
外部顧客への売上高	2,034,419	1,647,896	400,304	4,082,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	—	138,924	139,106
計	2,034,602	1,647,896	539,229	4,221,728
セグメント利益	257,758	110,006	52,462	420,227
セグメント資産	1,323,525	1,774,067	1,042,103	4,139,696
その他の項目				
減価償却費	333,956	211,328	51,984	597,269
のれん償却額	18,148	1,125	—	19,273
特別損失(注)	107	71	21,919	22,097
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	306,917	52,442	31,024	390,384

(注)特別損失の主なものは次のとおりであります。

カラオケ関係事業 固定資産除却損 107千円

スポーツ事業 固定資産除却損 71千円

I P 事業 店舗閉鎖損失 21,678千円、固定資産除却損 241千円

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			
	カラオケ 関係事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,434,843	1,630,652	208,912	4,274,408
その他の収益	—	—	143,610	143,610
外部顧客への売上高	2,434,843	1,630,652	352,522	4,418,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,882	—	127,461	146,343
計	2,453,726	1,630,652	479,984	4,564,362
セグメント利益	374,679	181,490	52,033	608,202
セグメント資産	1,723,609	1,953,130	909,541	4,586,281
その他の項目				
減価償却費	311,844	187,315	39,763	538,923
のれん償却額	10,901	—	—	10,901
特別損失(注)	0	35,231	26,616	61,848
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	265,235	20,246	17,975	303,457

(注)特別損失の主なものは次のとおりであります。

カラオケ関係事業 固定資産除却損 0千円

スポーツ事業 減損損失 35,224千円、固定資産除却損 7千円

I P 事業 固定資産売却損 22,630千円、店舗閉鎖損失 3,986千円

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,221,728	4,564,362
セグメント間取引消去	△139,106	△146,343
連結財務諸表の売上高	4,082,621	4,418,018

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	420,227	608,202
全社費用	△124,987	△147,325
連結財務諸表の営業利益	295,240	460,876

(注)全社費用は、全て報告セグメントに帰属しない、提出会社の管理部門にかかる一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,139,696	4,586,281
全社資産	1,368,920	1,487,282
連結財務諸表の資産合計	5,508,616	6,073,563

(注)全社資産は、提出会社における余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	597,269	538,923	7,563	7,183	604,833	546,107
特別損失	22,097	61,848	44	3,173	22,142	65,022
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	390,384	303,457	7,087	14,636	397,471	318,094

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	14円54銭	15円40銭
1株当たり当期純利益	0円83銭	1円09銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	169,481	222,333
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	169,481	222,333
普通株式の期中平均株式数(千株)	203,140	204,881

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当なし

②取締役の変動

伊澤 三男 退任 2024年6月21日付

宮川 旭 退任 2024年6月21日付

③監査役の変動

監査役候補(重任)

社外監査役 大関 紘宇 選任予定 2024年6月21日

※会社法第2条第16号に定める社外監査役の要件を満たしております。

東京証券取引所が定める独立役員候補です。

補欠監査役候補

補欠監査役 玉置 求己(現 公認会計士/税理士) 選任予定 2024年6月21日

※会社法第2条第16号に定める社外監査役の要件を満たしております。

④執行役員の変動

岩村 護 (株)ファイコム 取締役 部長 就任 2024年4月1日付

水原 邦之 (株)音通エンタテイメント 大阪営業所所長 就任 2024年4月1日付

宇野 元博 管理部 部長 就任 2024年4月1日付

⑤子会社役員の変動

水原 邦之 (株)音通エンタテイメント 取締役 選任予定 2024年6月21日